

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0305	政策名	芸術文化の振興	施策主管課	文化財課	課長名	鈴木 直明
------	------	-----	---------	-------	------	-----	-------

政策の目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます						
---------	--------------------------------	--	--	--	--	--	--

施策No	03	施策名	文化財の保護と活用	関係課名	博物館		
------	----	-----	-----------	------	-----	--	--

施策の目指す姿	文化財を適切に保護・活用しています						
---------	-------------------	--	--	--	--	--	--

現状と課題

【現状】  
 ・市内には、地域の歴史や文化を伝える有形・無形文化財が数多く所在していますが、滅失や廃絶のおそれが生じているものもあります。  
 ・市内の文化財に興味・関心のある市民の割合や、市内の文化財等を知っている市民の割合が低い状態です。

【課題】  
 ・文化財の保存・保護・伝承のための課題を整理し、所有者や関係者と共に必要な措置を講ずる必要があります。  
 ・文化財に対する市民の関心や認知、保護に係る理解が十分に浸透していないことから、向上させる手立てが必要です。

前年度の評価の振り返り  
 前年度評価時の今後の方向性

・文化財保存活用地域計画の策定に向けたコミュニティ会議単位で実施するワークショップにより、市民に対し文化財への関心と保護の大切さを喚起する。また、文化財の所有者・管理者、民俗芸能の伝承者から保護や伝承にかかる課題と望む支援について聞き取る。  
 ・総合文化財センター開館10周年を記念し「花巻の縄文」展を行い、市内の埋蔵文化財を紹介するとともに、保護を呼びかける。  
 ・展覧会は、著名な作家の作品を展示する特別展を開催するほか、テーマ展では花巻の歴史や文化に関する展示を行う。  
 ・講座は聴講者のニーズに合致した情報を取り入れるように努めるほか、体験学習会のメニューは、他市の館で行っている例も参考に工夫を凝らし飽きのこないメニューとする。  
 ・コロナ感染拡大防止策を徹底し、入館者の安全を確保する。

反映状況

・R5地域計画策定に向けて、令和元年度からコミュニティ会議単位でワークショップを開催し、令和3年度は5会場（花巻中央、花西、湯本、大瀬川、小山田）で実施した。  
 ・総合文化財センター開館10周年記念企画展「JOMON - 花巻の縄文文化」は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館期間が生じたが、会期延長を行い、市内の主な遺跡を展示・紹介した。また、企画展に合わせて埋蔵文化財講演会を開催した。  
 ・肉筆浮世絵を展示した特別展やニーズに合わせたテーマ展等を予定通り開催したほか、2月に予定していた企画展はコロナの影響により資料が借用出来ず、急ぎよ代替の収蔵品展示を開催したが、来館者にはおおむね好評であった。また、体験学習については、参加者が飽きることのない進め方を工夫したところ、参加してよかったとの声をいただいた。  
 ・講座では、「花巻の遺跡を学ぶ会」が中止となったが、学校や団体の依頼に応じて、講座や見学に対応した。体験学習では、新型コロナウイルス感染症への対応を意識しながら、縄文文様を学ぶエコバック作りを体験学習の新規メニューに取り入れた。  
 ・入場者の検温・手指消毒を行った。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- (1)文化財の保護  
 ・文化財の調査と指定  
 ・国、県等の有形・無形文化財指定登録に向けた支援  
 ・市が所有している文化財の適切な管理  
 ・個人等が所有する文化財の適切な保存のための指導と維持補修に対する補助  
 ・地域との情報共有の推進  
 ・埋蔵文化財保護のための適切な周知と指導  
 ・埋蔵文化財の記録保存及び分布状況調査  
 ・総合文化財センターにおける埋蔵文化財の整理、分類、保管
- (2)文化財の公開と活用  
 ・各種講座、講演会、セミナー等の開催  
 ・文化財を生かした地域事業や学校教育への協力  
 ・説明板や案内板等の改修、設置  
 ・文化財施設での特別展、企画展の充実

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
この1年間に博物館等の市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座・セミナー等に参加した市民の割合	文化財に対する興味・関心や理解をするため、市内にある文化財関連施設を訪れたり、文化財に関連する講座等に参加しているか、その状況を示す数値	出典：まちづくり市民アンケート 問：あなたは、この1年間に市内文化財施設（花巻市博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、石鳥谷農業伝承館、大迫郷土文化保存伝習館、総合文化財センター）を訪れたり、文化財に関する体験学習、セミナー、講話等に参加したことがありますか？ あると答えた市民の割合	%	目標値			22.00	23.00	24.00	25.00
				実績値			9.60	11.60		
文化財に関する講座・セミナー等への参加者数	市民が文化財に触れたり興味・関心を有しているかを示す指標	文化財関連施設（博物館、総合文化財センター）が行う講座やセミナー等への参加者数	人	目標値			4,400.00	4,400.00	4,500.00	4,500.00
				実績値			2,771.00	4,217.00		
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「文化財関連施設を訪れたり、講座・セミナー等に参加した市民の割合」 【達成度c】</p> <p>成果指標「文化財に関する講座・セミナー等への参加者数」 【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財施設を訪れたり、セミナー・講話等に参加した市民の割合は、昨年に比べて伸びたが、市民の興味・関心がまだまだ薄いので、引き続きPRに努めていく。</li> <li>・総合文化財センターは、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館や会期変更が生じたため、当初予定の企画展や講座の開催が変更となり、入館者・参加者が伸びなかったものの博物館は「鉄道と花巻」や「多田等観展」など地元で馴染みのあるテーマ展の影響もあり客足が伸びた。</li> </ul>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(文化財保護活用事業)多くの市民が郷土の歴史、文化財に関心を持ち、保存・保護に協力していくという意識の醸成が必要である。</p> <p>(埋蔵文化財保護活用事業)一般市民に興味や関心を持ってもらうための方策が必要である。</p> <p>(展示活動事業)市民が普段目にするのがない歴史的資料や美術作品を紹介する展覧会を開催する。</p> <p>(教育普及活動事業)各種講座や体験学習の内容を見直ししながら、参加者のニーズに応えるよう努める。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある文化財であっても市民の興味、関心及び認知並びに保護に対する理解を向上させる手立てが必要である。</li> <li>・市民が埋蔵文化財に関心を持ち、制度や保護の方法等について知ってもらう必要がある。</li> <li>・展覧会の企画にあたっては、市民が花巻の歴史や文化に親しみ、興味を引く魅力ある内容とする必要がある。</li> <li>・講座は時流にタイムリーな内容を取り入れ、参加者の声を聞いていく必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ会議単位で実施したワークショップにより、市民に文化財への関心と保護の大切さは一定程度理解していただいた。今後それを生かして文化財保存活用計画策定を進める。</li> <li>・総合文化財センターは、埋蔵文化財の収蔵・管理のほか、文化財の情報発信施設として企画展や体験学習を引き続き実施していく。</li> <li>・市民が花巻の歴史や文化に関心を持てるよう、知的好奇心に応える魅力ある展覧会を開催する。</li> <li>・各種講座や体験学習の内容を見直ししながら、参加者へのアンケート調査を実施する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	<b>文化財保護活用事業費</b>	文化財	一致	直結	C
	文化財調査(2件)、市所有文化財の管理(建造物4件、天然記念物2件)、石鳩岡・土沢神楽の映像記録作成、文化財修繕費補助(6件)、説明板設置&修繕(6件)、市民向け講座の開催				
020	<b>埋蔵文化財保護活用事業費</b>	文化財	一致	直結	C
	開発に係る届出(191件)のうち記録保存(3遺跡)、市所有遺跡の管理(5件)、総合文化財センターの企画展(3回)、講演会(1回)、講座(参加者355人)・体験学習会(参加者104人)、遺跡標柱設置(6件)				
030	<b>展示活動事業費</b>	博物館	一致	直結	C
	博物館でのテーマ展(5回)、共同企画展(1回)				
040	<b>教育普及活動事業費</b>	博物館	一致	直結	B
	博物館での講座(65回、3,191人)、体験学習会(12回、207人)				